



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第168号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

「それでは会議を始めます!」(雁が音中学校)
(地方自治制度学習での様子や感想は8ページ)



刈谷市の未来を担う市内の 中学3年生が議会を体験

地方自治制度学習の様子はこちら→

主な記事
議決した議案
委員会の動き
一般質問

ページ
2～3
4～7

12月定例会のあらまし

この定例会は11月30日に招集され、会期17日間で、
12月16日に閉会しました。
今回は議案など37件が提出されました。

◆11月30日 本会議
(議案の大綱説明)
・市長による議案の大綱説明

◆11月30日～12月2日 本会議
(一般質問)
・20人の議員による一般質問

◆12月2日 本会議
(議案説明・審議、委員会付託)
・工事請負契約の額を変更する
専決処分についての報告を了
承

・人権擁護委員の候補者の推薦
について異議ない旨答申
・令和4年度刈谷市一般会計補
正予算(第6号)を原案可決

・刈谷市事務分掌条例及び刈谷
市空家等対策協議会条例の一
部改正についてなど18議案を
関係する委員会に付託

・令和4年度刈谷市一般会計補
正予算(第7号)など7議案
を予算審査特別委員会に付託

◆2日 予算審査特別委員会
・各分科会を設置

◆6日～9日 委員会、分科会
採決
・議案、請願、陳情を審査及び
採決

◆15日 予算審査特別委員会
補正予算議案を採決

◆16日 本会議(採決)
・議案は全て原案可決
・令和4年度刈谷市一般会計補
正予算(第8号)が追加上程
され原案可決

・議員提出議案の刈谷市議会個
人情報保護条例の制定につい
てが追加上程され原案可決
・傍聴者は延べ55人

◆3月定例会の開催予定*

- 2月13日(月)議会運営委員会(運営を協議)
- 16日(木)本会議(開会、施政方針、議案説明など)
- 3月1日(水)本会議(質問質疑など)
- 2日(木)本会議(質問質疑など)
- 3日(金)本会議(質問質疑など)
予算審査特別委員会
- 8日(水)企画総務委員会・分科会
- 9日(木)福祉産業委員会・分科会
- 10日(金)建設委員会・分科会
- 13日(月)市民文教委員会・分科会
- 22日(水)予算審査特別委員会
議会運営委員会(運営を協議)
- 23日(木)本会議(委員長報告、採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

- 託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)
臨時保育室「カンガールーム」を御利用いただけます。
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。
- 手話通訳・要約筆記を希望される方へ
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。
- 質問質疑等KATCH放送(地上デジタル112チャンネル)
2月21日(火)、3月6日(月)、8日(水)、15日(水)
詳しくは(株)キャッチネットワークのホームページを御覧ください。



議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約の額を変更する専決処分について ・人権擁護委員の候補者の推薦について ・令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第6号) 	了承 異議ない旨答申 可決
<ul style="list-style-type: none"> ・【企画総務委員会関係・12議案】 ・刈谷市事務分掌条例及び刈谷市空家等対策協議会条例の一部改正について(※) ・刈谷市個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定について(※) ・刈谷市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について(※) ・刈谷市公平委員会設置に関する条例の一部改正について ・刈谷市職員の定年等に関する条例の一部改正について ・職員の給与に関する条例の一部改正について ・刈谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について ・刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(※) 	可決
<ul style="list-style-type: none"> ・特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について(※) ・刈谷市職員退職手当支給条例等の一部改正について ・刈谷市職員の降給に関する条例の制定について ・地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について ・【福祉産業委員会関係・2議案】 ・指定管理者の指定について(ぬくもりプラザ) ・刈谷市げんきプラザ条例の制定について(※) 	可決
<ul style="list-style-type: none"> ・【建設委員会関係・3議案】 ・工事請負契約の締結について(市道01-40号線道路新設改良工事(橋りょう上部工)) ・刈谷市手数料条例の一部改正について ・刈谷市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正について ・【市民文教委員会関係・1議案】 ・指定管理者の指定について(南部生涯学習センター及び北部生涯学習センター) 	可決
<ul style="list-style-type: none"> ・【令和4年度補正予算関係・7議案】 ・刈谷市一般会計補正予算(第7号)(※) ・刈谷市刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) ・刈谷市刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) ・刈谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ・刈谷市介護保険特別会計補正予算(第2号) ・刈谷市水道事業会計補正予算(第3号) ・刈谷市下水道事業会計補正予算(第2号) 	可決
<ul style="list-style-type: none"> ・【請願・7議案】 ・介護保険制度の改善を求める請願(※) ・安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願(※) ・医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願(※) ・子どもたちの豊かな育ちを保障する制度の充実・拡充を求める請願(※) ・保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願(※) ・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願(※) ・給食のオーガニック化推進を求める請願(※) 	可決
<ul style="list-style-type: none"> ・【追加上程・1議案】 ・令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第8号) ・【議員提出議案・1議案】 ・刈谷市議会個人情報保護条例の制定について 	可決

請願の提出方法についてはこちら↓



12月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 ー：欠席)

議案名及び議決結果	加藤 幹樹	揚張 慎一	葛原 祐季	近藤 澄男	渡邊 妙美	鈴木 正人	清水 俊安	自民クラブ			市民クラブ			公明クラブ	清風クラブ	無所属の会	日本共産党	にぎわいの会	無所属	議長	副議長	
								加藤 廣行	外山 敏一	山崎 高晴	深谷 英貴	伊藤 幸弘	黒川 智明									鈴木 浩二
刈谷市事務分掌条例及び刈谷市空家等対策協議会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市げんきプラザ条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険制度の改善を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×
医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×
子どもたちの豊かな育ちを保障する制度の充実・拡充を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×
給食のオーガニック化推進を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×

議長のため、採決に加わらない

一般質問

市政のつとを問う

この定例会では、11月30日から12月2日までの3日間で、20人が登壇し、43項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順） ※…掲載した項目

- 葛原 祐季 議員
 - ※1 子を伸ばす取組について
 - ※2 地域新電力会社の取組について
- 清水 俊安 議員
 - ※1 幼児教育・保育の充実について
 - ※2 高齢者施策について
 - ※3 防災・防犯対策の推進について
- 白土 美恵子 議員
 - ※1 国の総合経済対策について
 - ※2 健康施策について
 - ※3 子育て支援策について
- 牛田 清博 議員
 - ※1 第8波対策と市民の健康把握、くらし応援について
 - ※2 魅力あふれる公園づくりについて
 - ※3 統一協会から市長への要請と対応について
- 渡邊 妙美 議員
 - ※1 刈谷市駅前地区の再開発について
 - ※2 シモ子 議員
 - ※3 小中学校におけるジェンダー平等教育について
 - ※4 子ども・保護者の視点の施策について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 物価高騰から市民の暮らしを守る市の役割について
 - ※2 子どもの権利が尊重される学校づくりについて
 - ※3 ひとり親家庭を孤立させない施策の充実について
 - ※4 市民を守る予防接種体制について
- 城内 志津 議員
 - ※1 全国瞬時警報システム（Jアラート）について
 - ※2 電動キックボードについて
- 加藤 幹樹 議員
 - ※1 刈谷市職員の勤務時間管理について
 - ※2 刈谷市小中学校教員の業務負担軽減について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 令和5年度予算編成方針について
 - ※2 刈谷市の交通事故防止の取組について
- 深谷 英貴 議員
 - ※1 高齢者、障がい者等に対する防災支援について
 - ※2 児童・生徒の登下校時の安全について
 - ※3 小中学校の太陽光発電について
 - ※4 刈谷球場関係について
 - ※5 災害時の対応について
- 谷口 睦生 議員
 - ※1 児童・生徒の登下校時の安全について
 - ※2 小中学校の太陽光発電について
 - ※3 刈谷球場関係について
 - ※4 災害時の対応について
- 揚張 慎一 議員
 - ※1 児童・生徒の登下校時の安全について
 - ※2 小中学校の太陽光発電について
 - ※3 刈谷球場関係について
 - ※4 災害時の対応について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



葛原 祐季 議員

電力の「地産地消」と「脱炭素」へ向けた新電力会社の取組は!!

—刈谷知立みらい電力株式会社を設立し取組を推進する—

問 刈谷知立みらい電力株式会社は刈谷市と知立市を含む4者が出資して協業をするが、その中でも本市が牽引する立場にある。本事業の内容は。

答 供給先となる刈谷市及び知立市の公共施設の電力需要量に対し、クリーンセンターでの発電及び不足電力も含め、電力の調達は全て東邦ガス株式会社から行い、各施設へ提供する。収益は両市に寄附され、脱炭素に向けた事業等に活用していくことを予定している。

問 本事業は、本市のCO₂排出量の年間削減目標の約22万トンに対し、0.8%程度貢献

清水 俊安 議員

待機児童ゼロ人を維持するため、必要な施策の展開を!!

—保護者の意向を丁寧に酌み取り、適切な保育環境の整備に努める—

問 令和4年4月に待機児童がゼロ人になったが、待機児童が解消されるに至ったこれまでの取組は。

答 平成27年以降、私立保育園の新設を推進し、令和4年までの間に8園が新設され、現在市内全体で11園が開設されている。また、公設公営の保育園8園のうち4園をゼロ歳児から2歳児の受入れに特化した乳児園に移行した。あわせて、公立幼稚園全園を幼児園に移行し、保育利用を可能とすることで、乳児園化した園の3歳児から5歳児の減少分の受入れができる体制を整えた。

問 待機児童ゼロ人を維持するため、必要な施策の展開を期待するが、今後の待機児童の見通しは。

答 乳幼児の人口は減少傾向

白土 美恵子 議員

女性の接種率向上のための周知と男性の公費助成の検討を!!

—引き続き国の動向を注視し、検討していく—

問 子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、積極的勧奨が約9年ぶりに再開された。差し控え期間に女性に再度接種機会を設ける

答 キヤッチアップ制度も開始されたが、定期接種対象者も含めまだ接種率は低い。令和5年4月からは9価HPVワクチンが定期接種の対象となるということだが、その内容は。

問 9価HPVワクチンの接種対象者は定期接種対象者及びキヤッチアップ接種対象者全てとされており、既に2価または4価HPVワクチンを接種している人についても、3回接種が完了していない場合は、交互接種も可能とされる見込みである。

牛田 清博 議員

反社会的集団である統一協会との関係は今後どうするのか

—事前の把握を徹底し、不適切な団体とは、一切関係を持たない—

問 統一協会から市長に出席要請のあった11件のイベントの関係団体名とその対応は。

答 世界平和青年学生連合、世界平和連合、世界平和統一家庭連合、UPF-Japan、平和大使協議会である。4件のイベントに祝文を送付した。

問 コロナ禍も3年となり、高齢者の体力が落ちている。フレイル予防の取組は。

答 フレイル予防として、栄養・運動・社会参加の3つを柱として、栄養教室等を実施した。市民が健康に過ごせるまちづくりに向けあいち健康プラザを今後どう活用していくのか。

（主な答弁者…次世代育成部長）

性が感染した場合、中咽頭がんや肛門がんなどのリスクがある。男性もHPVワクチンを接種することで予防ができることだが、市はどのように考えているか。

答 男性については、4価HPVワクチンは定期接種の対象にはなっておらず全額自費となるが、厚生労働省で検討を行っているため、引き続き国の動向を注視していく。



適切な周知と費用助成で接種率の向上を

（主な答弁者…市長）

既にげんきプラザなどと協働しているが、より効果的な事業の推進に向け連携を深める。

問 異常な物価高騰で市民の暮らしは大変厳しい。給食費の無償化、18歳までの通院医療費無料化、商品券発行など支援策



高齢者サロンにおける健康体操



待機児童ゼロを維持し、安心して子供を預けられる環境整備を

新海 真規 議員

※1 コロナウイルス感染症対策について

2 プラスチックごみについて

伊藤 幸弘 議員

1 大規模災害発生に備えた避難所充実について

※2 ゼロカーボンに向けた省エネ・創エネについて

黒川 智明 議員

※1 刈谷市のDXの推進について

星野 雅春 議員

1 地域担当職員について

※2 刈谷市の交通体系について

近藤 澄男 議員

※1 放課後児童クラブの祝日開設及び土曜日開設について

2 手話言語条例について

稲垣 雅弘 議員

※1 地域政策のブラッシュアップについて

上田 昌哉 議員

※1 刈谷市の自死について

2 刈谷スマートシティとWeb3.0について

蜂須賀 信明 議員

※1 学校部活動の地域移行について

2 教員の手引書「生徒指導提要」について

を聞き、適切な対応に努める。

山本 シモ子 議員

速やかに学校のトイレに生理用品の常備を!!

—モデル校の取組を検証し、その結果を基に検討していく—

問 保健室で生理用品を児童生徒に渡している実態はどのようか。また、学校のトイレに生理用品を常備する取組のモデル校はどこか。

答 保健室において、令和4年の4月から3か月の間に中学校6校で合計67個、小学校15校で合計56個の生理用品を児童生徒に渡した。家庭の環境を含めて、子どもたちの状況をつかむため、保健室の養護教諭が子どもと対話をしながら生理用品を渡している。また、モデル校については、雁が音中学校に依頼し、10月初旬からトイレに生理用品を置いていく。

問 モデル校を設置して何を検証しているのか。

答 どの程度の個数があるのか、そのためにはどの程度の予算を確保する必要があるのか、また、設置することによる何の不都合が生じないのかなどの確認に取り組んでいる。

問 児童生徒の安全な成長発達を見届ける責任を持つ教育現場において、トイレにトイレットペーパーがあるように、学校のトイレに生理用品を常備するべきである。市の考えは。

答 モデル校での取組を基に、今後の取組について、検討をしていく。

問 モデル校での取組を基に、今後の取組について、検討をしていく。

加藤 幹樹 議員

有事の際に市民が取るべき行動について周知・啓発を!!

—ミサイル発射など有事の避難行動について周知、啓発をしていく—

問 Jアラートは、どのようなシステムなのか。

答 弾道ミサイル情報や緊急地震速報など、住民に瞬時かつ確実に伝達するため、市町村の防災行政無線や防災ラジオ等を自動起動させることにより、サイレンや音声放送により情報を伝達するシステムである。

問 弾道ミサイル情報によるJアラート発令時における市民の避難行動及び避難場所は、近隣の建物の中または地下への避難を、近くに建物がない場合は、地面に伏せ頭部を守る行動を、屋内にいる場合は、窓から離れていく。

答 現在、県作成のパンフレットや市ホームページ等による広報を行っている。今後は、有事の際に住民が取るべき行動について、講演会などのイベントの際にパンフレット等を用いて周知するなど、一層の啓発に努めていく。

問 現在、県作成のパンフレットや市ホームページ等による広報を行っている。今後は、有事の際に住民が取るべき行動について、講演会などのイベントの際にパンフレット等を用いて周知するなど、一層の啓発に努めていく。

渡邊 妙美 議員

刈谷市駅前地区のまちづくりの具体的な方針は!!

—魅力と活力にあふれ、多世代に選ばれ続ける拠点形成を目指す—

問 刈谷市駅前地区のまちづくりの具体的な方針は。

答 にぎわいや交流が生まれ、魅力と活力にあふれた幅広い世代から選ばれ続ける拠点の形成を目指すため、民間活力を生かした市街地再開発などによる都市基盤施設の再生とともに、まちなか居住の誘導を図る。

問 準備組合が解散したとの説明があったが経緯は。

答 平成30年に刈谷市駅前地区の地権者により準備組合が設立され、法定再開発事業による土地の共同化や建物の高度化をはじめ、道路や駅前広場などの再編について検討が行われてき

た。しかしながら、合意形成の遅れなどにより、事業の長期化が予想されたことから、事業手法を街区ごとの民間再開発事業に変更する判断がなされた。それに伴い、準備組合は解散することになったが、準備組合に代わる組織として、令和4年6月に「名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会」が設立された。

問 まちづくり協議会に対する市の支援内容は。

答 指導、助言をするとともに、民間再開発事業に対する補助金による支援のほか、駅前広場や駅周辺道路などの都市基盤施設の整備を進めていきたい。

問 指導、助言をするとともに、民間再開発事業に対する補助金による支援のほか、駅前広場や駅周辺道路などの都市基盤施設の整備を進めていきたい。

城内 志津 議員

子どもの権利条約を学び合う機会を!!

—子供は社会の授業で学習し、多くの教職員が理解している—

問 授業開始の5分前に入室し3分前に着席するルールにより、「トイレにいけない」「生理用品が交換できない」という悲痛な声が多数寄せられている。健康被害に及ぶ校則やルールを廃止しないのか。

答 学校の考え方を尊重していききたいと考えている。

問 下着の色柄の指定やその検査の廃止をしないのか。社会通念からすればセクハラだ。

答 子供たちの校則見直しの中で議論され、その状況を見守っていききたいと考えている。また、下着を直接見て確認するようなことはないと聞いている。

問 髪型の校則や煩雑な身なり検査は、家庭に経済的負担を強いている。廃止しないのか。

答 身だしなみのためだけに散髪に行くような状況はあまり

鈴木 浩二 議員

刈谷市教職員の適正な労働時間の管理・把握のさらなる強化を!!

—在校時間の管理・把握の大切さについて各校への周知に努める—

問 令和3年度の勤務時間外の月平均在校時間は、小学校38時間、中学校49時間で、共に平成30年度比で25時間以上減少しており、大幅な改善が図られた。しかし、いまだに月100時間を超えた教職員の1年間の延べ人数が、小学校131人、中学校235人もいる。年間の最長在校時間は、中学校教員で1835時間に達している。正しい労働時間を申請できていないという報道などもあるが、正しい労働時間管理の必要性を今まで伝えてきた教育長の思いは。

答 在校時間の適切な管理・把握は、業務内容の精選や業務量の平準化、教職員の心身の健康を守る上で、大変重要だと考えている。本市では、正確に把握して報告をするよう各校に依頼している。今後在校時間の管

理・把握の大切さについて、各校への周知に努める。

問 刈谷市も令和3年度から、パソコンの立ち上げ時間による客観的な方法での管理をスタートしたが、仕事の家庭への持ち帰りについては、どのように把握しているか。

答 家庭に業務を持ち帰らないよう各校で指導をしているが、家庭で行っている業務時間は、把握できていない。

（主な答弁者・・・教育長）

刈谷市教職員の適正な労働時間の管理・把握のさらなる強化を!!

—在校時間の管理・把握の大切さについて各校への周知に努める—

問 令和3年度の勤務時間外の月平均在校時間は、小学校38時間、中学校49時間で、共に平成30年度比で25時間以上減少しており、大幅な改善が図られた。しかし、いまだに月100時間を超えた教職員の1年間の延べ人数が、小学校131人、中学校235人もいる。年間の最長在校時間は、中学校教員で1835時間に達している。正しい労働時間を申請できていないという報道などもあるが、正しい労働時間管理の必要性を今まで伝えてきた教育長の思いは。

答 在校時間の適切な管理・把握は、業務内容の精選や業務量の平準化、教職員の心身の健康を守る上で、大変重要だと考えている。本市では、正確に把握して報告をするよう各校に依頼している。今後在校時間の管

理・把握の大切さについて、各校への周知に努める。

問 刈谷市も令和3年度から、パソコンの立ち上げ時間による客観的な方法での管理をスタートしたが、仕事の家庭への持ち帰りについては、どのように把握しているか。

答 家庭に業務を持ち帰らないよう各校で指導をしているが、家庭で行っている業務時間は、把握できていない。



生徒自ら校則の見直しを行い、話し合いの成果を全校に伝える



子供たちへの教育の充実のために、教員の心身の健康は欠かせない

深谷 英貴 議員

(主な答弁者・・・企画財政部長)

市民に寄り添った分かりやすい令和5年度予算編成を!!

日本経済の状況と今後の見通しについて市の見解は。

高齢化の進展などに伴う扶助費の増加や物価高騰の影響

DX推進などに取り組みながら質の高い行政サービスを

地域や施設等に対してのハザードマップに関する防災講

小中学校での防災教育の内容は。また、その内容を各家

子供たちの防災意識向上

子供たちの防災意識向上



DX推進などに取り組みながら質の高い行政サービスを



地区の自主防災訓練にボランティアで参加し活躍する中学生

にまとめ、家庭に持ち帰り、家族で防災について考える機会を

児童・生徒の登下校時の安全の確保を!!

退勤時刻と下校時刻が重なり危険であるとの指摘がある

自転車通学者全員を対象とした説明会を行い、通学路や

自転車通学者用ヘルメットの基準は設けていない。全校

感染が拡大し、医療機関に電話してもつながらない状況

衣浦東部保健所が自宅で療養を希望される方に対して

令和4年8月より刈谷医師会の休日診療所で抗原検査や

検査体制は充実しているか。



コロナの疑いや感染した場合の不安に寄り添う体制

濃厚接触により外出が困難な方に対して、薬の受け取りや買物代行を行っている。

ゼロカーボンに向けた省エネ・創エネ施策の拡充を!!

国のエネルギー方針改定を受け、本市のCO2排出量削減に向けた取組の重点施策は。

公共施設の省エネ・創エネに対する拡充施策の取組は。

本市の産業分野のCO2排出量は全体の48%と高く、本

産業分野の脱炭素に向けた、支援策の必要性の認識は。

DX推進計画の方針の柱の一つに「利便さを実感できる

オンラインによる事前予約や、本庁舎と施設をオンライン

ICTの急速な発展に対応し、市役所全体で推進する



カーボンニュートラル政策の基盤となる「刈谷知立みらい電力株式会社」設立式

(主な答弁者・・・産業環境部長)

(主な答弁者・・・企画財政部長)

(主な答弁者・・・福祉健康部長)

(主な答弁者・・・教育部長)

学校長に対するICT研修を予定するなど、DX推進に努めている。子供たちは、タブレット端末を使って意見交換をするなど、主体的・対話的な活動に取り組む、学びを深めている。

星野 雅春 議員
市民の交通権・移動権が保障されるような交通施策の充実を!!
 —適切な施策を策定・実施するとともに市民の理解を深めていく—

問 国民の交通権や移動権とは何か。また、この権利を保障するために刈谷市が担う役割は。

答 交通権や移動権は、交通や移動に関して住民が持つ権利の総称と言われているが、法律において具体的な定義はない。本市としては、国との適切な役割分担を行い、地域の諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有していると考えている。

問 稲沢市で実施している「おでかけタクシー」は、75歳以上の方や妊婦の方などにタクシー運賃の半分を補助している。デマンド交通の導入も含めてどのように考えているか。

答 公共施設連絡バスは多くの方に利用していただいているが、市内バス路線でカバーできない地域における交通手段としてタクシーは有効な移動手段と考えている。タクシー補助につ



実証実験を通して、市民にとって使いやすいデマンド交通の導入を

近藤 澄男 議員
放課後児童クラブでの祝日開設や土曜日開設に対する利用状況は!!
 —トラブルや混乱もなく、スムーズに児童の受け入れができています—

問 新たに始まった祝日開設の利用状況はどうなっているか。

答 6つのクラブの合計で、敬老の日は94人、秋分の日は116人、スポーツの日は113人、文化の日は130人、勤労感謝の日は112人が利用している。いずれのクラブでもトラブルや混乱はなく、スムーズに児童の受け入れができています。

問 土曜日や祝日の利用で普段とは異なる施設を使うこととなる方々への不安軽減のために配慮していることはあるか。

答 利用者の不安軽減や児童の安全な受け入れのため、土曜日や祝日に配置する支援員は、子供たちと平日頃から慣れ親しむ保護者とも顔の見える関係にある支援員が良いと考え、中学校

区を基本として、その学区内に所在する小学校のクラブに勤務する支援員から少なくとも1名を配置するよう努めている。

問 来年度以降について、どのような形で開設していくのか。

答 土曜日や祝日の開設に伴う箇所数や施設は、アンケート調査による利用のニーズ把握や地域バランスなどを踏まえ、保護者の利便性を考慮し、中学校区に1か所ずつ、計6か所のク



子供たちが働く保護者のために児童クラブのさらなる充実を

稲垣 雅弘 議員
トップランナーを目指し、職員一丸となって政策作りを!!
 —職員の発想を自由に提案できる環境整備に努めていく—

問 現在、各自治体がAIやDX、スマートシティ等様々な手法を織り交ぜながら、政策作りを取り組んでいる。スマートシティにしても本市はトップランナーを目指していくべきだと考えている。職員の政策立案能力の向上や地域住民に寄り添いながら、課題を解決するための政策をどうブラッシュアップしていくのか。

答 トップを目指す向上心は大切なことではあるが、最小限の投資で最大の効果を得ることも行政の大切な使命の一つと捉えている。行政課題が多岐にわたり、市民のニーズも多様化してきている中で、全体最適を目指すことが重要と考えている。また、昨年度から新たな取組として、本市でスタートさせたスマートシティでは、分野横断的に地域課題に取り組んでいくこ

問 刈谷市は中高年の自死が多く、最近若くは若い人の割合も増えている。令和4年10月に自殺総

とを基本理念としており、その過程では、各担当課の実務者レベルの職員が実際に生じている課題に対して、企業と連携をしながら、実証実験による仮説検証を行い、実装までブラッシュアップさせていくという必要が生じてくる。そういった実務の中で、さらに職員の個々の能力が磨かれ、発揮されるように努める。



地域の課題を様々な手法で取り組む中で、職員の意識・能力向上を

上田 昌哉 議員
有効な自殺対策の取組を推進して自殺者のいない刈谷市を!!
 —関係部署と連携を取り、総合的な自殺対策に取り組んでいく—

問 刈谷市は中高年の自死が多く、最近若くは若い人の割合も増えている。令和4年10月に自殺総

拡大の影響などで自殺の要因と

なり得る様々な問題が悪化したことで、女性や子供、若者の自殺者が増加したことから、これらの対策の推進がポイントになっている。本市としても引き続き関係部署と連携するとともに、次期計画の策定において、有効な対策の推進を図っていく。

問 令和5年に刈谷市自殺対策計画の見直しがあるが、どのような手順で進めるのか。

答 国から提供される自殺実態プロフィールを基礎資料とし、本市での5年間の自殺対策の取組、数値目標等の評価を踏まえ、現状と課題を分析し、計画の策定を進めていく予定である。

問 さらに対策が必要と考えられているが、新たな施策はあるか。

刈谷市自殺対策計画
 【2019年度～2023年度】



刈谷市自殺対策計画により自殺対策の推進を

蜂須賀 信明 議員
学校部活動の指導に総合型地域スポーツクラブの指導者を!!
 —指導を希望される方の活用を検討していきたいと考えている—

問 部活動の地域移行に対する市の基本的な考え方は。

答 平成21年度より、市内中学校の幾つかの種目で外部指導者を配置している。今後、中学校で外部指導者の充実を図っていききたいと考えている。

問 外部指導者に対する報償費が1時間当たり10100円では安くないか。見直しの考えは。

答 報償費は、他の事業との均衡を取って設定しているため、全体とのバランスを取りながら検討していきたいと考えている。

問 総合型地域スポーツクラブの安定した運営を市で支援できないか。

答 学校部活動の地域移行の動きに合わせて検討していきたいと考えている。

問 総合型地域スポーツクラブのメンバーは、ボランティア活動にも積極的に参加されている。



大会で3年間の練習の成果を発揮する中学生

刈谷南中学校



依佐美中学校



刈谷東中学校



富士松中学校



朝日中学校



令和4年10月19日～11月7日 刈谷市役所9階 議場

地方自治制度学習

市内の全中学3年生が3年ぶりに本市議会を訪れ、議員席や理事者席に座り、議会の仕組みを学びました。また、図書館の新設のための条例改正を題材に、議決までの流れを体験しました。

■生徒の感想

- ・自分が住んでいる市のことなのに、どこか遠い存在に感じた市議会を一気に身近に感じることができた！
- ・教科書には書かれていない、実際に見学しないと分からないことを知ることができてよかった！

編集後記

くかけはし

◆皆様がこの市議会だよりを手にする頃は、年が明けて1か月が経ち、新年に立てた目標に向かって猛進されている頃ではないでしょうか。2023年が皆様にとって良い1年になることを御祈念いたします。

◆今年の干支は「うさぎ」です。うさぎ年は「飛躍」「成長」の年と言われています。刈谷市も「第8次刈谷市総合計画」のスタートの年となります。コロナ禍、物価高騰などの不安要素もありますが、今後も市民の皆様が安全で安心して住み続けられる魅力あるまちづくりの実現に向け取り組みます。

◆今回の表紙の写真は、市内の中学生を対象に実施した「地方自治制度学習」の様子です。中学生の皆さんが議長や市長等の役となり、図書館の新設についてをテーマに模擬議会を体験しました。真剣な議論に頼もしさを感じました。若い皆さんが刈谷市議会・刈谷市政に興味を持つ機会になることを願っています。

◆刈谷市議会では、今後も市民の皆様の声に応え、信頼される議会運営に取り組みますので、皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

(議会広報委員会)

■お詫びと訂正

令和4年11月1日発行のかりや市議会だより(167号)に掲載しました、固定資産評価審査委員会委員の選任について及び教育委員会教育長の

選任についてのそれぞれの任期の記載に誤りがありました。左記のとおり、訂正してお詫びいたします。

誤 任期4年
正 任期3年

議会トピックス

■刈谷市議会個人情報保護条例を制定(12月16日)

個人情報保護に関する法律の一部改正により、地方公共団体の執行機関が新たに同法の適用を受けることとなる一方で、地方議会は適用対象外とされたことから、議会における個人情報保護制度を維持する上で必要があるため条例を制定しました。

12月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 一般質問の際、密接を避ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- ため議場に入る議員の数を減らし、別室でモニター視聴を実施